

## 1 学校目標

### 1 学校教育目標『あなたたちは世の光である あなたたちは地の塩である』

- (1) 自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材を育成する  
 A. 主体性を育てる B. 自己を他者にひらいてかかわる力や態度を養う  
 C. 神に心をひらく生き方を促す D. 調和のとれた人格の発達をめざす
- (2) 建学の精神をふまえ、すべての生徒がその個性と能力を最大限に伸ばすことを願い、学力を基礎とした人間力のある生徒を育成する。

### 2 生徒に身につけさせたい資質・能力 『人間力』

- (1) 主体的に学び続け、目標に向かって最後までやり抜く力(基礎学力の定着と学力UP)  
 (2) 他者とかかわり社会で働く知識と技能(コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、話す力、伝える力)  
 (3) 課題を発見し解決していく思考力、判断力、表現力(自分で考える力)

### 3 ミッション 『教育の特色を理解し、生徒一人ひとりの自己実現を支援する』

- (1) 萩光塩学院の教育の理念を理解し、それを日々の学校教育において具体化し、充実・発展させていく  
 (2) 各教科で研究を行い、基礎学力の定着と応用力の発展に努める(成績UPの具体的な取り組みを行う)  
 (3) 生徒の進路実現に向けて現状の課題をみつけ、対策・強化に努める(新コース制・進路指導など)  
 (4) 社会や地域のニーズに対応した新しい取り組みを計画し、実現に向けてスピード感をもって取り組む

### 4 めざす教師像 『自分のまわりに喜びと光をまく教師』

- (1) 使命感と教育愛をもって、生徒とかかわることができる教師  
 ・生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、のばすことができる教師  
 ・受容的姿勢を大切にすると共に、生徒の将来を意識し「是は是、非は非」とした指導ができる教師  
 ・自分の役割を自覚し責任を持って職務を全うする教師(聞いていない、知らないは言わない)
- (2) 保護者や生徒、地域から信頼される教師  
 ・理想を掲げ、具体的な目標に向かって生徒と共に汗をながすことができる教師  
 ・家庭や地域との連携を図り、信頼関係を築くことができる教師(公正・公平な態度で接する)  
 ・モラルの向上と綱紀の保持に努め、信頼される教師(学校内外での言葉使いや立ち振る舞い等に注意)  
 ・生徒や保護者、地域からの問い合わせに迅速に対応することができる教師(相手のリズムを大切に)  
 ・小・中学校との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校運営等に反映させる
- (3) 自ら教師力の向上に努める教師  
 ・教科指導に積極的に取り組む教師  
 ・自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れない、実践力のある教師  
 ・生徒のために自らの個性や特技を積極的に発揮し、生徒や学校に貢献することができる教師  
 ・組織の一員であることを忘れず、助け合うことができる教師

## 5 教職員全員で気をつけて取り組むべき5項目 『決まりを守る』

- (1) 綱紀保持に努める
  - ・体罰、暴言、飲酒運転、交通事故、個人情報の管理、セクハラ、パワハラ、公金管理、言葉遣いなど
- (2) 教職員同士の連携の強化
  - ・PDCA サイクルに則って、分掌間の情報を共有し、OJT の推進に努める。
  - ・諸会議等の計画的効率化（限られた時間を有効的に活用するため、会議は計画的、効率的に実施）
- (3) 学校施設・設備・備品の管理・取り扱いに注意
  - ・学校備品の整理整頓（使った物は責任を持って片付ける）
  - ・大切に使用する
  - ・掃除をきちんと行う
- (4) 時間厳守
  - ・授業の開始と終了
  - ・ホームルームの開始と終了
  - ・掃除の徹底
- (5) 提出物の期限を守る
  - ・外部への提出資料はもちろんのこと、内部提出の資料も期限を守る

## 2 取り組みとそれに対する評価

教 務	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の基礎力と学力の向上を図る</li> <li>(2) 新コースのスムーズな運用</li> <li>(3) 教員として必要な資質向上のための研修をおこなう</li> <li>(4) 教員の授業力向上を図る</li> <li>(5) 建学の精神の進化を図る</li> <li>(6) 業務を簡素化し、効率的に仕事を進められるようにする</li> </ul>
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 週4回、朝の時間を使い、高校は週2回、朝学で一般常識や数学、社会、理科の基礎知識の定着を図っている。残りの2回（中学校は週4回）は読書の時間を設け、読解力や思考力、表現力を養っている。国語では校内漢字テスト、英語では校内英単テストを年に4回実施している。成績優秀者には表彰を、点数が足りない生徒には、追試験をおこなうなど意欲的に学ぶ姿勢を育てている。 中学校・高校の特別進学コースは7時間目の授業や課外授業、土曜登校日などで学力向上を目指している。高校の普通コースの生徒には、基礎学力講座や大学進学講座、准看対策講座を実施し、生徒のニーズに合わせた授業をおこなっている。 学力支援が必要な生徒に対しては、個別に学習支援をおこない、知識の定着を図っている。</li> <li>(2) 今年度より、高2で新コースの授業がスタートした。大きく変更したのは、看護系進学コースの設置、音楽コースから音楽・幼児教育コースに、情報コースから公務員・情報コースに名称変更した点である。今までより専門的な学習に取り組み、幅広い進路に対応できるようになっている。</li> <li>(3) 来年度からのICTサポート導入を見据え、今年度はICT教育に関する研修を特に重点的に行った。その他にも、危機管理やメンタルヘルス、カトリック研修など様々な種類の研修を行っている。必要に応じて、各教科、分掌でも研修をおこない、情報を共有し、連携を図った。</li> <li>(4) 各教科で研究授業を実施し、授業参観や事前事後の研究協議を通して、授業力向上に努めた。 電子黒板やプロジェクターなどICT機器を積極的に活用し、分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。 年に2回授業アンケートを実施し、現状や課題を把握し、よりよい授業づくりに活かすことができた。また、全授業アンケートを教務で集計し、各教科で共有した。</li> <li>(5) 朝礼で「朝の奉獻の祈り」と「光塩生徒の姿」を唱えることで、光塩の生徒が目指す生徒像を確認している。 学期に1回テーマをもとに「学院の精神」をホームルームの時間におこない、建学の精神について考えを深めた。</li> <li>(6) 昨年度に引き続き、書類や提出物の電子化、データ化に取り組んだ。今年度は通知表の電子化やタブレットを使つての資料の共有など、積極的に取り組んでいる。</li> </ul>
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 朝学や朝読は生徒にとって非常に有意義な時間になっている。漢字テストや英単テストも成績優秀者が多数おり、自ら学習する意識が身に付いてきている。課外授業や土曜登校日、個別学習においてもそれぞれ成果が表れている。</li> <li>(2) 外部講師を招いての講座や、資格取得など今までにはない新たな取り組みができています。授業内容は今年度を振り返り、しっかり検討し、来年度に活かす必要がある。</li> <li>(3) 必要な情報を皆で共有することができ、有意義な研修となった。特にICT研修では、来年度以降の導入に向け、教員の意識が高まった。</li> <li>(4) 昨年度同様、研究授業に対して教科によって意識が違うので、全教</li> </ul>

	<p>科がおこなうための取り組みを考えていかなければならない。</p> <p>(5) 担当が毎回「学院の精神」の修正を行い、よりよい授業へと進化してきている。生徒同様、教員ももっとカトリック研修を行い、知識や幅広い考え方を身に付ける必要がある。</p> <p>(6) 今まで記入や提出に時間のかかっていたものを簡素化したことで仕事の効率が上がった。</p>
評価（5段階）	4
来年度に向けて	<p>コースは、来年度高3で新コースでの授業が始まる。今年度見えた課題を踏まえ、来年度スムーズにスタートが切れるように調整していく必要がある。今年度できなかった課題を早急に改善していく。</p> <p>さらなる効率化を目指して、簡素化できる業務を改善していく。</p>
<b>進路指導</b>	
目標	<p>1年：学習習慣を身につけ、基礎学力の確認・充実を図る。自分の適性を把握し、将来像を描く。</p> <p>2年：職業や学部・学科への知識を深め、自己の進路をより具体化する。</p> <p>3年：進路目標の達成のための学習計画を遂行し、就職や進学への本格的に取り組む。入試改革に向けて、正しい情報の収集、早急な対応、準備</p>
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光塩会総会の日には保護者対象の進路説明会を実施。</li> <li>・1、2年生を対象に関西方面へのオープンキャンパス引率での参加を実施。今年度は関西大学、同志社大学、立命館大学への訪問。来年度も関東方面か関西方面かで実施予定。</li> <li>・学期に1度の進路ガイダンスを実施。3学期は国語科を中心に現代社会の諸問題について学び、小論文対策を実施予定。</li> <li>・7月には福岡県内の大学2カ所を見学予定だったが、豪雨災害の影響で中止。来年度も計画予定。</li> <li>・12月は高2が山口大学とYIC専門学校を訪問。</li> <li>・進路講話として、1年生は12月、2年生は2月に実施（進路指導主任）。1年生は外部より講師を招いて、3月に職業講話を実施。</li> <li>・新入試やポートフォリオ導入に向け校内研修や企業での説明会等への参加。</li> <li>・公務員試験対策として、専門学校での説明会、研修に参加。</li> <li>・高大連携の一環として、講師を招いて公務員・情報コースの公務員講座の実施。</li> <li>・高大連携の一環として、音楽・幼児教育コースの生徒は至誠館大学のスプリングセミナー（幼児教育）への参加予定。</li> <li>・就職希望者に対しては、就職サポーターの助言をもらいながら、企業訪問や面接練習を実施。</li> <li>・進学希望者に対しては、受験前に面接練習を3回実施。</li> <li>・模擬試験の実施。（センター対策、2次試験対策、小論文対策等）</li> <li>・夏期講習、センター対策講座など、年3回長期休暇中に課外を実施。</li> </ul>
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生になっても目標がはっきりしない生徒もおり、今後も一人ひとりに丁寧に関わっていく必要がある。また、受験方法も多様化してきており、各進学先への適切な対応策を考える必要がある。</li> <li>・関西方面へのオープンキャンパス参加を初めて実施したが、目標が具体化された良い機会になったようである。</li> <li>・進学希望者への面接練習も予定表を事前に提示し、計画通りに進めることができた。今後も早めに予定を立て、余裕を持って受験に臨めるようにしたい。</li> <li>・進路ガイダンスは工夫が必要だと感じる。</li> <li>・夏期講習の実施時期、内容等の見直しが必要。</li> </ul>
評価（5段階）	4

来年度へ向けて	<p>入試制度が 2020 年に変わるため、その準備をしっかりと進めていく。正しい情報の収集、ポートフォリオの導入、ICT の活用など、課題は山積しているが、生徒の進路実現を第一に考え、迅速に対応していきたい。また、高大連携事業をもっと増やしていきたい。遠方へのオープンキャンパスへの参加や、県内の大学・専門学校訪問などは、進路選択の一助となるため継続していきたい。</p> <p>就職希望者は少人数だが、希望の職種に就けるように今後もしっかりサポートしていきたい。</p>
<b>生活指導</b>	
目標	<p>生徒指導の目的 生徒一人ひとりの夢の実現に向けて、自分の言動に責任をもつことができる力（自己指導能力）を育成する。</p> <p>生活指導目標  <ul style="list-style-type: none"> <li>・「規範意識を高める」「いじめを根絶する」</li> <li>・ルールやマナーを自ら守り、モラルの向上をめざす。</li> <li>・正しい服装をする。</li> <li>・遅刻をしない。</li> <li>・すすんであいさつをする。</li> <li>・場にあった正しい言葉づかいをする。</li> <li>・いじめを絶対に許さない。</li> </ul> </p>
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験期間中の校外巡視。</li> <li>・列車巡視（長門・須佐方面）</li> <li>・いじめアンケート・生活アンケートの実施</li> <li>・携帯・スマホ安心安全講習</li> <li>・交通安全教室（自転車の乗り方について）</li> <li>・各学年による服装検査</li> </ul>
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係の悩みを抱える生徒が多く、教育相談、SC との連携強化が必要。また関係を悪化させている要因の多くが SNS である。家庭と連携して情報モラル・マナーを身につけさせることが重要。</li> <li>・大きな服装の乱れはなかったが、靴下を下げてはいたり、シャツの第一ボタンを開けたままにしたりする生徒が若干いた。</li> <li>・挨拶については、外部からお褒めの言葉をいただくなどほとんどの生徒ができていようである。しかし、相手や場に応じた言葉遣いができていない生徒が多いように感じられた。</li> <li>・LINE、Twitter 等の SNS トラブルが数件あった。学校での指導は随時実施しているが各家庭での理解と協力が必要。</li> </ul>
評価（5段階）	3
来年度へ向けて	<p>生徒一人ひとりが校則の意味を考え行動できるように教育活動全体を通して指導していきます。また、ルールで縛り付けるのではなく、生徒自身がどのように行動することが良いのか状況に応じた的確な判断ができるように指導・支援をしていきたいと思えます。</p>
<b>教育相談</b>	
目標	一人ひとりの子どもの自己実現に向けて、教育上の諸問題や不適応問題について、本人または、保護者、すべての教職員とともに解決に向けて取り組む。
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「個別の支援計画」を持った生徒への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校との引き継ぎ</li> <li>・保護者との事前教育相談</li> <li>・専門機関との引き継ぎ及び保護者を交えたケース会議</li> <li>・継続支援の実施</li> <li>・担任、教科担当への引き継ぎ</li> </ul> </li> <li>○気になる生徒の早期発見・早期対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実態把握</li> <li>・必要に応じて面談と指導、支援の実施</li> </ul> </li> </ul>

実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会議後から、必要に応じて保護者面談と相談、支援</li> <li>○ケース会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発生の場合に、会議を実施</li> <li>・スクールカウンセラーと共に、実態把握や支援に繋げるための会議</li> <li>・スクールカウンセラー、専門機関等との会議・保護者を交えての会議</li> </ul> </li> <li>○情報収集 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度末に中学校との引き継ぎ</li> <li>・本人への指導、支援、相談</li> <li>・担任、教科担当への支援</li> <li>・保護者に対する相談窓口</li> </ul> </li> <li>○専門機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コーディネーターとの連携</li> <li>・医療機関との連携</li> </ul> </li> <li>○スクールカウンセラーとの連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者、教員との面談</li> <li>・各学年、心理教育授業の実施</li> </ul> </li> <li>○いじめ対策委員会への参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導と協力し、生活アンケート等からの会議</li> <li>・実態把握</li> </ul> </li> </ul>
反省	<p>新校舎になり、校内整備が整った状態ではあるが、相談室が生徒の教室の近くにあるため、相談場所の確保に困ることがあった。教育相談の主任と養護教諭が合併したため、どちらの立場で相談が実施されているのか、先生方との相談体制が整っていなかったことが、反省される。</p> <p>スクールカウンセラーにおいては、生活指導、教育相談体制作りを図り、定期的な相談活動やケース会議、心理授業が実施されている。臨床医の専門的な立場から、意見や情報をもらうことができ、生徒、保護者、教職員の問題解決に向けて大きな助けとなり、指導にも生かすことができた。しかし、相談件数が多かったため、十分なフィードバックができなかった。教職員も、もっと積極的に問題解決に向けて意見を聞き合えるとよい。</p> <p>生活指導の問題が、学年会議で終ることは良いが、情報が教育相談組織に伝達されていなかったため、再び生徒が、つまづくことがあり、生徒把握に困った。生徒の抱えている悩みや問題内容によっては、もっと連携を取り、学校が、一体となって対応することができる様、校内体制を築くことが必要であり、教職員の意識を高めることも課題である。</p>
評価（５段階）	4
来年度へ向けて	<p>校内教育相談体制を見直し、各学年や各組織との連携を図り、問題が大きくならないうちに対応できるよう努めたい。また、生活指導と、もっと情報を共有し、共通理解に基づいた協力体制作りを図りたい。</p> <p>校内教育相談体制を明確にし、教職員が、気になる生徒に気づいた場合に行動がとれるよう、支援体制づくりをしなければならない。</p>
<b>募 集</b>	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員全員で募集活動に当たる</li> <li>・萩市内の宣伝を強化する</li> <li>・長門市での宣伝を強化する</li> <li>・光塩会の協力を得る</li> </ul>
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールガイドなどの広報活動・広告、学校見学日やオープンスクール、萩ケーブルネットワークやはぎ時事への取材交渉などを全教員が分担し、責任者を中心に計画と活動を実施</li> <li>・中学校訪問は年 5 回全教員で行った</li> <li>・小学校訪問は中学校教員を中心に年 2 回行った</li> <li>・新聞折り込みチラシや TVCM などメディアを利用した宣伝活動</li> <li>・部活動の活躍により多くの横断幕を作成した</li> </ul>
反省	<p>教職員だけでなく保護者の方々と連携をとって宣伝活動ができた。光塩会の協力で市内ポスター掲示をスムーズに行うことができた。新聞やテレビで本校の活動が多く取り上げられ、広く宣伝することができた。</p>
評価（５段階）	4

来年度へ向けて	第一に地元である萩・長門地区の生徒・保護者にこれまで以上に本校の魅力を発信し、生徒募集につなげていきたいと思ひます。また、他地域の生徒・保護者にも本校の取り組みや特色を伝えるため各種メディアを活用していきたいと考えています。今後も保護者の方々にご協力をいただくと助かります。
<b>校友会</b>	
目標	生徒が自ら喜びをもって活動できる学校を作る 新たな企画を行うと同時に、今までの行事を充実させる 委員会、部活動と連携し、活動の幅を広げる
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生歓迎会</li> <li>・文化祭（オープニング、マドレーヌ販売）</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・3年生を送る会</li> </ul> </li> <li>○ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・萩ふるさとまつり出店</li> <li>・萩総合支援学校の萩総まつり販売ボランティア等</li> <li>・H a g i 産業フェスタ出店</li> <li>・市内3校合同清掃活動</li> <li>・校内美化ボランティア3回実施</li> </ul> </li> <li>○代議委員会（月目標決定）、中央委員会の開催</li> <li>○校友会新聞発行（各学期）</li> <li>○朝のあいさつ運動、自転車の施錠点検の実施</li> <li>○高校生県議会参加</li> <li>○バザー寄付金の協力（全校生徒へお願い）</li> <li>○生徒の要望をまとめ、学校に提出</li> <li>○エフエム萩ラジオ出演（学校紹介など）</li> <li>○行事等の進行（学校見学日、インドネシア留学生来校等）</li> </ul> <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校の行事の企画・運営</li> <li>○校友会新聞発行</li> </ul>
反省	<p>会長を中心に執行部メンバーが、自由に意見やアイデアを出し合い、行事等の企画・運営を協力し合って行うなど生徒が主体となって活動する様子が見られた。より良い学校づくりを目指して、いろいろな活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>昨年度の反省であった市内の高校3校での合同清掃活動に、今年度は参加することができた。しかし、東京光塩との交流が再開することができなかった。</p>
評価（5段階）	4
来年度に向けて	<p>来年度こそは、東京光塩との交流を再開したいと考えている。</p> <p>全校生徒が一つになって様々な行事に取り組み、生徒皆が主役になれる学校づくりを目指すことができるよう、これからは執行部が中心となり、他の委員会と連携を取りながら、行事等の企画・運営を行っていききたい。</p> <p>執行部メンバーが掲げた公約を1つでも多く実現させたいと考えている。また、中学校と高校の校友会が共に連携を図り、活動の幅を広げていききたい。</p>
<b>国際交流活動</b>	
目標	生徒の視野を広げるため、積極的に外国の方との交流の機会を計画する。世界共通語としての英語を使う体験を通し、日頃の学習意欲の向上につなげる。
実施事項	<p>萩市から依頼の外国客船歓迎セレモニー協力（カレドニアンスカイ号、ロストラル号）。</p> <p>インターナショナルワークショップ</p>

	<p>「Cross Cultural Days」として、9月にインドネシアから中学生15名の訪問</p> <p>社会科教員海外交歓授業として、10月に韓国松湖高校の教員2名が本校で、12月に本校の教員1名が韓国で2日間の授業を行い、交流を深めた。</p> <p>12月にはメルセス会の総長、副総長が来校され、生徒との交流を深めた。</p>
反省	<p>インターナショナルワークショップは、イタリア、ウクライナ、オーストラリア、フィリピン、中国、インドネシアからのスタッフと日本人スタッフに参加してもらい、4日間の活動を行った。今年度も市内小学生の多数の参加があった。</p> <p>インドネシアからの留学生15名は中学校1年から高校3年の各クラスに入ってもらい、3日間の交流を行った。ホームステイを引き受けてくれる家庭が少なくなっていることが課題である。短い時間ではあったが、生徒や留学生にとって貴重な体験となった。</p> <p>社会科教員海外交歓授業は至誠館大学からの依頼で行った新しい取り組みで、双方とも手探りの部分も多かったが、教員だけでなく生徒にとってもよい体験となった。</p>
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	これまでの活動を継続するとともに新しいものも取り入れ、国際交流が生徒にとってより身近で充実したものとなるように計画していきたい。
<b>ボランティア活動</b>	
目標（計画）	「奉仕の精神」を養う、また地域貢献の場としても重要な活動と位置づけ、生徒が積極的に取り組めるようにする。地域貢献や異文化理解を柱として活動しているメルセダリアン・インターアクトクラブ及び、学期末のボランティアへの登録者であるメルセダリアン・インターアクトを中心に、活発な活動を続けていく。
実施事項	<p>市内の小学生の勉強の手助けを行う学習支援ボランティアに、定期的に参加した。各学期末には、「子ども発達支援センターからふる」「養護老人ホームつばき」「特別養護老人ホームオアシスはぎ園」を訪問し、清掃活動を行った。「老人ホームへの手紙」の活動を行った生徒もいる。</p> <p>校友会が呼びかけた校内の草取りや窓ふきのボランティアに多くの生徒が参加した。</p> <p>宗教委員会の呼びかけで、使用済み切手の収集、募金活動（More Than 300 Campaign、クリスマス献金等）、越冬支援、不用本の寄付（被害者支援）、書き損じハガキ収集等も行っている。</p> <p>昨年度に引き続き、萩ふるさとまつり、HAGI 産業フェスタに萩光塩のブースを出展し、校友会、メルセダリアン・インターアクトクラブの生徒を中心に、展示や販売、募金活動などを行った。</p> <p>その他の活動として、以下のものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はぎキッズパークボランティア</li> <li>・乙女峠祭りボランティア</li> <li>・萩教会バザーボランティア</li> <li>・萩・卓球バレー交流大会ボランティア</li> <li>・「ダメ・ゼッタイ。」国際麻薬乱用撲滅キャンペーンボランティア</li> <li>・萩・ふうせんバレーボール大会ボランティア</li> <li>・越ヶ浜小学校サマースクールボランティア</li> <li>・サマーナイトフェスティバルボランティア</li> <li>・萩セミナーハウス主催子どもキャンプボランティア</li> <li>・夏季熊本地震被災児あそぼうキャンプボランティア</li> <li>・24時間テレビボランティア</li> <li>・ハロウィンたまち&amp;結まつりボランティア</li> <li>・萩総まつりボランティア</li> <li>・萩ライオンズクラブ杯卓球バレーボール大会参加</li> <li>・萩城下町マラソン大会補助員</li> <li>・クリスマスキャロリングボランティア</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維新劇・創作ミュージカル「SHOWIN」ボランティア</li> <li>・東北被災地ボランティア（福島） ・萩市民駅伝補助員</li> <li>・国際ソロプチミスト萩チャリティーバザーボランティア</li> </ul>
反省	今年度も多くの活動を行うことができた。ボランティアに参加する生徒が固定されてしまうところもあるので、募集の工夫を工夫するなどして、より多くの生徒の参加につなげる必要がある。
評価（５段階）	4
来年度へ向けて	活動自体はこれまでのものを継続しながら、生徒が参加しやすいように、計画、工夫をしていきたい。ボランティア活動を行った生徒自身の振り返りやまとめなどの機会を設けることも考えていきたい。
<b>業務改善</b>	
目標	教職員の業務内容を見直すことにより、労働時間の短縮を図り、かつ教材研究など本来の業務に充てる時間を確保する。
実施事項	<p>通知表の電子化、指導要録の電子化、進捗表、ホームルーム日誌の簡素化、成績一覧表作成方法の改善</p> <p>運営委員会での事前協議による職員会議の時間短縮</p> <p>平日は午後８時、長期休業中は午後５時までに退出</p> <p>バースデイ休暇制度</p> <p>光塩会広報部を中心としたポスター掲示</p>
反省	<p>通知表の電子化は学期末の忙しい時期には有効だった。</p> <p>退出時間については、行事などの関係で時間通りにならない場合もあるが、昨年度と比べると早くなっている。</p> <p>バースデイ休暇制度は今年度は全員が取得した。</p> <p>ポスター掲示については保護者も協力的で、教員の負担がかなり軽減した。</p>
評価（５段階）	3
来年度へ向けて	<p>成績カードも電子化する。以前から行われている様々な業務について、見直しをし、廃止、簡略化など考えていきたい。</p> <p>保護者の協力を得る形のを増やしていきたい。</p>

### 3 保護者からの意見

#### 高1オリエンテーション（萩セミナーハウス）（4月12, 13日）

1. 内容を詳細に周知、報告してほしいです。
2. 入学まもなく友達を作る機会だったと喜んでいました。
3. 入学してすぐで、お互い不慣れの中行われるので、境界線がとれるのが早く、クラス内だけでなく学年で仲良くなれた。

#### 携帯電話パソコン安心講習会（4月18日）

1. 安全な使い方について繰り返し学ぶことは大切だと思います。
2. 改めてスマホは便利だけど、使い方によっては危険な物になるということがわかりました。これを機会に使い方を見直そうと思います。
3. 親としてはこのような講義が大切だと思います。毎年開催してください。
4. 家庭でも話し合いますが、とても必要だと思います。
5. 講習会を受けることで、安全に使用する方法を再認識することができる。

#### 中学校宿泊訓練（4月26, 27日）

1. 仲間意識を作る良い機会でした。
2. 学校生活にまだ慣れていない新入生と先輩の在校生の交友の場にもなり、とても良い経験になったと思います。

#### 交通安全教室（５月２日）

1. 早期にいろいろな話が聞けて良かったようです。
2. 自転車通学なので、毎日当たり前のように乗っている自転車ですが、普段のなれた道でも注意して乗ることが大切だと感じました。

#### 進路ガイダンス（５月１８日）高校生

1. 目標意識を高めるのには良いと思う。
2. 大学や専門学校の説明を聞くことができ、学校それぞれの特色を知ることができた。
3. 子供からの話やHPでの写真から、とても良い取り組みだと思いました。これからもキャリア教育の充実を目指していただけたらと思います。

#### 萩光塩会総会（５月３０日）

1. 要領よく進行されていた。
2. 総会がいつも時間内に終わらないので、もう少し時間をとってはいかがでしょうか。
3. 最後に流された「光塩アピール映像」は、明るく楽しいイメージが伝わり良かったです。

#### スポーツ大会懇親会（６月９日）

1. 皆さん楽しくスポーツされていたと思います。
2. 先生方の参加が多く、話も盛り上がりました。
3. 先生方、保護者の方に声をかけていただき、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

#### 文化祭（６月２０日）

1. 土日祝日開催で、一般開放を望みます。保護者が参加できるようにしてほしい。
2. 皆が盛り上がる様子、１つの目標に向けて努力、達成するいい機会だと思います。
3. 中３の書道パフォーマンスが、光塩ならではの発表をする機会としてとても良かったです。子供の成長を感じました。
4. 発表内容は、自由で生徒が作り上げた感があり、よく練習していた。ただ、照明が暗く生徒の顔が見えにくかったこと、マイクの音がこもっていたことは改善されると良い。

#### 中学校修学旅行（サイパン ７月１８日～７月２４日）

1. とてもよい経験ができたようです。中学校の修学旅行でこれだけの経験ができるのは光塩の強みだと思います。まち comi で細やかな連絡が届くのもとてもよかったです。
2. いろんな事が不安で旅立ちましたが、帰国後いろんな意味で成長していました。貴重な経験ありがとうございました。
3. 中学校段階から国際交流ができるというのは光塩の特徴で、よいと思います。

#### 萩夏祭りヨイショコショパレード（８月２日）

1. 盛り上げながら行進していてよかった。
2. 浴衣を着て学校としてお祭りに参加できるのは、特別感もあって楽しかったようです。
3. 生徒がよく踊っていたと思います。先生方のご協力もあり、とてもりのよい生徒が多かったように思います。
4. 萩の賑やかな町並みを肌で感じました。踊った後のカレーライスとてもおいしかったです。お疲れ様でした。ありがとうございました。

#### 学校清掃作業（８月１８日）

1. 始まるの時間もほどよく、協力してよくできたと思う。草刈り班もコンパネを工夫して使用し、外部への影響もなくてよかった。
2. 保護者や生徒の多くの参加があつてよかったと思います。
3. 開始時刻がまだ涼しい時間だったので、作業がやりやすかった。また、多くの方の協力により、予定時間内で終わることができた。
4. 生徒と保護者、保護者間、生徒間の交流にもなり、よかったと思います。

### 体育祭（9月3日）

1. よい天気になり進行もスムーズでよかったと思う。小さい子達が競技に参加している姿もとてもかわいかった。騎馬戦は毎年見ていると怖いものがある。
2. 皆さんマナーがよかったので警備は必要ないのでは。
3. 男子の組み体操は危険を感じた。
4. 一生懸命練習していたことが伝わりました。全生徒まじめに競技に取り組んでいて、見ても楽しかったです。
5. 騎馬戦は危険を伴うので、タイヤ奪いにはどうでしょうか。
6. 子供たちの表情がよく、とても楽しんでいる姿がよかった。
7. 後片付けを手伝える世帯の駐車は、テニスコート優先にしてもらえると、東中のグラウンド整備がスムーズに行えると思います。保護者の手伝いも無理のない適度なものであったのでよかったと思います。
8. 晴天に恵まれて実施ができてよかったです。熱中症で最後倒れる生徒もいましたが、大事には至らずに終わることができました。生徒のがんばる姿、よい体育祭でした。

### Cross Cultural Days インドネシア（9月26日～28日）

1. 他国の学生と触れ合うことによって（言葉は違っても）友達になれて、楽しめているようでよかったと思う。
2. ホームステイ以外に家庭との交流の場があればいいと思う。
3. お土産をもらって帰りました。交流することで他国への興味が出たようでした。
4. 国際交流でよい企画です。継続していくとよいと思います。ただ、ホームステイの受け入れ先が少ないのが残念です。今回は台風で中止になりました。学院側で考えられている以上に配慮をしています。いろいろな連絡も生徒を通して行われましたが、保護者の労力、気遣いも考えて直接の依頼や変更の連絡をされるべきではないでしょうか。

### 開校記念日ミサ（11月1日）

1. 高校生活最後のミサでしたが、全校生徒でのハレルヤコーラスもきれいに歌えて、思い出に残るミサになったと話していた。
2. 講演は、講師の語りがとても素晴らしく、映像や音楽とのコラボが効果的でした。神父様の声も印象深く感じられました。子供目線の話し方も工夫されていたと思いますが、大人向けでも十分生徒は聴くことができたのではないのでしょうか。

### 萩・阿武中学校音楽会（11月8日）

1. 少人数でしたが、素敵な歌声でした。
2. 音楽会の会場に都合で行けませんでした。オープンスクール時、音楽室で歌ってもらい聞いてよかったです。

### バザー（11月23日）

1. 早朝からバタバタ忙しかったですが、保護者みんなで協力し、無事終わることができてよかったです。
2. 食堂での映像がよかったです。食事もおいしかったです。中学校保護者の引き継ぎがうまくいってなく、特に一年生の保護者の方々には申し訳なかったです。
3. 初めてお手伝いに参加させてもらいましたが、楽しかったです。残った品物を処分するのは出された方に申し訳なく思いました。
4. 当日のお手伝いで、バザーには初参加させていただきました。楽しそうな他のブースも見て回りたかったけど、今回はお手伝いに徹しました。のみの市の販売でしたが、値段付けから前日準備まで本当に大変だろうと感じました。次回からは準備から携わって、当日、品物、値段が把握できていたらと思います。
5. すごく人が多くてよかったです。お手伝いもスムーズでした。
6. 今年も大変盛り上がりしている様子でした。中学生、高校生の生徒たちが一生懸命活動していて感心しました。
7. ビスケット作りやうどん作りは大変でしたが、当日たくさん売れたので、頑張って作ってよかったですと話していた。

#### 修学旅行（沖縄、グアム）（12月12～16日）

1. 特にトラブルもなく帰ってきて安心しました。まち comi で写真を見られたのでよかったです。
2. むらさきむらでの体験が今回はなかったので残念でした。
3. 修学旅行は大変楽しかったと聞いています。海外はとてもよい社会勉強になったようです。
4. 日程の中に、民泊が取り入れてあったのはとてもよいことだと思った。沖縄班であったがたくさんの文化に触れて帰ってきていた。携帯と離れての5日間はよい体験になったと思う。

#### キャロルコンクール・クリスマス祝い（12月20日）

1. 子供から、クラスの友達とキャロルの練習に取り組む様子を聞きました。クラスメイトとかかわり合いながら同じ目標に向かって頑張ることができたようです。
2. 高2は修学旅行の後すぐなので大変だったと思うが、頑張っていたと聞いた。
3. はじめて参加させていただきましたが、感動いたしました。この伝統行事が、中学生・高校生の枠を越えて光塩生としての自覚を持たせ、また楽しい思い出となりますように。

#### カルタ会（1月8日）

1. 普段あまり関わることのない1, 2年生とコミュニケーションがとれてよかったですと言っていました。
2. 日本の伝統を学校行事で子供たちに伝えて頂けるので、とてもうれしく思います。これからも続けてほしいと思います。
3. 光塩百人一首は有名なうたが多いのでこの機会に覚えてほしいと思った。

#### 萩市駅伝大会（1月20日）

1. 教職員と保護者が連携され出場していることが素晴らしい。
2. 大会の参加者の中・高の在校生の父母が少ないことが残念だと思う。
3. 応援に行きました。チームの皆さんの頑張る姿にとっても感動しました。お疲れ様でした。
4. スタート・ゴール地点にも数人応援（見送り、迎え）がいた方がもっと盛り上がると思いました。

#### 生徒の校内・校外での様子、その他

1. 個別指導など、お忙しい中対応していただき、感謝しております。
2. 毎日指導して下さる先生方に感謝しております。しかし、言葉や態度などで悲しい思いをする生徒がいると聞きました。対策改善をお願いします。
3. 用があり学校へ行きましたが、すれ違う生徒さんが気持ちよく挨拶してくれました。とても気分が良かったです。
4. 呼び方に気をつけて指導してほしい。
5. 男子生徒の挨拶が悪いと思います。（1年, 2年）
6. 大きな声で明るく挨拶もできているので、とてもよいと思う。部活動も頑張っていると思う。
7. 学校の近くで会う機会が多くありますが、落ち着いた生活ができているように感じます。
8. 校外、校内でも身だしなみに気を付けてほしいです。

#### 4 教員の自己評価と外部評価

教育目標をもとに 25 の項目を立て、教員一人ひとりが自己評価を行い、評議員に外部評価をお願いした。それぞれの項目について評価は 1～5 の 5 段階で行い、その平均を示した。

1. 平成 30 年度 学校目標		自己評価	外部評価	
1	教育目標	自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材の育成に努めた	3.8	4.8
2	教育目標	建学の精神をふまえ、すべての生徒がその個性と能力を最大限発揮できるようかかわった	3.5	4.8
3	生徒に身につけたい力	主体的に学び、目標に向かって最後までやり抜く生徒の育成に努めた(基礎学力の定着、学力 UP)	3.6	4.3
4		他者とかかわり、社会で働く知識と技能を身につける生徒の育成に努めた(話す力、伝える力の育成)	3.7	4.6
5		自ら課題を発見し解決していく生徒の育成に努めた(自分で考える力の育成)	3.4	4.1
6	私たちのミッション	萩光塩学院の教育理念を理解し、それを学校教育において日々具現化し、充実・発展させた	3.7	4.6
7		各教科で研究を行い、生徒の基礎学力の定着と応用力の発展に努めた	3.4	4.3
8		生徒の進路実現に向けて、現状の課題をみつけ、対策・強化に努めた	3.3	4.3
9		社会や地域のニーズに対応した新しい取り組みを計画し、実現に向けてスピード感をもって取り組んだ	3.2	4.5
10	めざす教師像	生徒一人ひとりの良さや可能性を引き出し、のばすことができた。	3.5	4.6
11		受容的姿勢を大切にすると共に、生徒の将来を意識して「是は是、非は非」とした指導ができた。	3.9	4.4
12		自分の役割を自覚し、責任を持って職務を全うすることができた。(聞いてない、知らないは言わない)	3.8	4.4
13		理想を掲げ、具体的な目標に向かって、生徒とともに汗を流した。	3.8	4.5
14		家庭や地域との連携を図り、信頼関係を築くことができた。(公正公平な態度で接する)	3.8	4.5
15		生徒や保護者、地域からの要望や問い合わせに対して迅速に対応することができた。	3.8	4.6
16		小・中学校との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校運営等に反映させた。	2.9	4.5
17		教科指導に積極的に取り組んだ。	3.7	4.5
18		自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れず実践した。	3.6	4.3
19		生徒のために自分の個性や特技を積極的に発揮し、生徒や学校に貢献することができた。	3.8	4.3
20	組織の一員であることを自覚し、助け合うことができた。	3.8	4.5	

21	教職員全員で気をつけて取り組む5項目 『決まりを守る』	綱紀保持に努めた ・体罰、暴言、飲酒運転、交通事故、情報管理、セクハラ、パワハラ、公金管理、言葉使い等	4.0	4.8
22		教職員同士の連携強化に積極的に努めた ・PDCA サイクルに則って、分掌間の情報を共有し、OJT の推進に努めた ・諸会議の計画的効率化に努めた(時間の有効活用のため事前の計画・準備を忘れずおこなった)	3.5	4.3
23		学校施設・設備・備品の管理、取扱いに気をつけた ・学校備品の整理整頓、使用後の清掃などをきちんとおこなった	3.9	4.0
24		時間を守る ・授業の開始と終了、ホームルームの開始と終了、掃除・勤務時間等の厳守に努めた	4.0	4.5
25		提出物の期限を守る ・外部、内部の提出物の期限は確実に守った	3.7	4.5

5 学校関係者評価委員会の意見	
募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者の働きかけが大切である。学校に来てみて、よかったことを発信してほしい。行事の手伝いなどどんどん来てもらいたい。</li> <li>● 近年光塩は外部とのつながりも増え、開けた感じがする。</li> <li>● 部活動での活躍が大切で、生徒たちがPRの主役になっている。</li> </ul>
教務	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 看護系進学コースを作ったのは良いことである。進学の実績が上がるとPRになるし、生徒の自己肯定感にもつながる。</li> <li>● 資格が取れることは大きな魅力である。</li> </ul>
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間関係の悩みを抱える生徒が増えている。これが自殺などにつながらないように、サポートをお願いしたい。</li> <li>● 最近の高校生はおとなしい人が多い。SNSなどの対応に疲れ、病んでいる生徒も多いのではないか。</li> </ul>
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価のために多くの時間をとられて先生方が大変になっていないか心配である。</li> <li>● 先生の負担が大きいのではないだろうか。時間短縮などを行って健康面に気を付けてほしい。</li> <li>● 先生が忙しくなって、1ヶ月間休めない人もいるのではないかと心配である。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この1年間に生徒が色々な面で活躍したことを聞いて、うれしく思った。</li> <li>● 外部評価が高いことは、先生が謙遜していることでもあるので良いことである。</li> <li>● 生徒の先生に対する評価が高いのは、私学として誇れることである。</li> <li>● ダンス部や書道部など特色のある部活動があるのだから、バザーのバスケットを待つ列の中などで見せてはどうだろうか。きっと、感動する人が多くいると思う。</li> </ul>